

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-34518 (P2004-34518A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 5 日 (2004.2.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-005
 【出願番号】特願 2002-194936 (P2002-194936)
 【国際特許分類第 7 版】

B 2 9 C 63/42
 // H 0 1 B 17/58
 B 2 9 L 31:34

【F I】

B 2 9 C 63/42
 H 0 1 B 17/58 F
 B 2 9 L 31:34

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 7 月 4 日 (2005.7.4)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

中空筒状体を形成する本体部と、該本体部の軸線方向一端に一体的に連結され、該本体部の外周面上に折り返して配置可能な可撓性を有する滑り部とを具備する摺動脱離型コア部材において、

前記本体部は、互いに組み合わされることにより前記中空筒状体を形成する複数の板状部分を備え、

前記滑り部は、前記複数の板状部分の各々に個別に併設されること、を特徴とする摺動脱離型コア部材。

【請求項 2】

前記本体部は、前記中空筒状体において隣り合う前記板状部分を、互いに回動可能に連結する連結部分をさらに備える請求項 1 に記載の摺動脱離型コア部材。

【請求項 3】

前記複数の板状部分は、前記中空筒状体において相互係合する係合端面をそれぞれに有し、前記本体部は、該係合端面を含む端縁領域で該複数の板状部分に形成され、外力に抗して該複数の板状部分を該中空筒状体の形態に保持する補強部分をさらに備える請求項 1 又は 2 に記載の摺動脱離型コア部材。

【請求項 4】

前記本体部の外周面上に折り返して配置した前記滑り部を、該外周面上に解除可能に係止する係止部をさらに具備する請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の摺動脱離型コア部材。

【請求項 5】

開口端を有する弾性チューブ部材と、該弾性チューブ部材の該開口端から所定長さのシール領域に除去可能に内設され、該シール領域を弾性的拡張状態に保持する中空筒状のコア部材とを具備する常温収縮管装置において、

前記コア部材が、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の摺動脱離型コア部材からなり、

前記摺動脱離型コア部材は、前記滑り部が、前記本体部の外周面上に折り返されて、該本体部と前記弾性チューブ部材の前記シール領域との間に介在した状態で、該シール領域に内設されること、

を特徴とする常温収縮管装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の摺動脱離型コア部材において、本体部は、中空筒状体において隣り合う板状部分を、互いに回動可能に連結する連結部分をさらに備える摺動脱離型コア部材を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 又は 2 に記載の摺動脱離型コア部材において、複数の板状部分は、中空筒状体において相互係合する係合端面をそれぞれに有し、本体部は、係合端面を含む端縁領域で複数の板状部分に形成され、外力に抗して複数の板状部分を中空筒状体の形態に保持する補強部分をさらに備える摺動脱離型コア部材を提供する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の摺動脱離型コア部材において、複数の板状部分の外周面上に折り返して配置した滑り部を、外周面上に解除可能に係止する係止部をさらに具備する摺動脱離型コア部材を提供する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項 5 に記載の発明は、開口端を有する弾性チューブ部材と、弾性チューブ部材の開口端から所定長さのシール領域に除去可能に内設され、シール領域を弾性的拡張状態に保持する中空筒状のコア部材とを具備する常温収縮管装置において、コア部材が、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の摺動脱離型コア部材からなり、摺動脱離型コア部材は、滑り部が、本体部の外周面上に折り返されて、本体部と弾性チューブ部材のシール領域との間に介在した状態で、シール領域に内設されること、を特徴とする常温収縮管装置を提供する。